

# 企業のITシステムを支え、信頼性を確保する5つの防災ソリューション

▶▶▶ NTTファシリティーズ

## 顧客サービスを継続するためのさまざまな防災対策

ECビジネスの拡大等を背景に、企業のIT依存度は高まっている。ある調査によると、企業のITシステムの停止が2日に達すると、約30%の企業は倒産する可能性が高くなるといわれている。ITシステムが企業を支えている現在、ITシステムの防災対策が求められている。

「災害時にも顧客サービスを継続的に提供するには、ITシステムだけではなく、それを支える電源・空調システム等各レイヤーの全てが確実に稼働する必要があります。そのためには、平常時に各レイヤーへの包括的な防災対策を行い、サービス提供におけるシステム全体の信頼性を向上させることが重要です(図1参照)。」(株)NTTファシリティーズ 営業本部 法人統括部長 小泉 泰之氏

NTTファシリティーズはITシステムを支える建物・電源・空調などのファシリティを災害から守る「地震・停電・雷害・水害・火災」の5つの防災ソリューションを1パッケージで提供しており、その一

部をご紹介します。

### ・停電対策ソリューション

都市基盤の弱さを露呈した2006年8月の首都圏大停電では、各企業に停電の恐ろしさを改めて実感させた。停電は人的な災害としても起こりうるもので、ビジネスにおける停電対策の重要性を再認識させることとなった。

電源の信頼性確保に関するコンサルティングとして、NTTファシリティーズでは「エネルギーシステム総合診断コンサルティング(エネルギードック)」がある(図2参照)。設備概要・運転状況・電気使用量・運用管理体制等のデータを基にIT施設の診断・評価を行い、受電からIT機器にいたるまで各段階における最適なソリューションを提案している。

具体的には、無停電電源装置(UPS)や直流給電システム(DC



(株)NTTファシリティーズ  
営業本部  
理事  
法人統括部長  
小泉 泰之氏

POWER)、非常用発電装置などによる高信頼電源システムの構築、さらには全国に張り巡らされた150の保守拠点から、24時間365日の監視・保守・駆け付けサービスまでトータルで行う停電対策ソリューションを提供している。

### ・地震対策ソリューション

世界で起きたマグニチュード6.0以上の大地震のうち、20%が日本

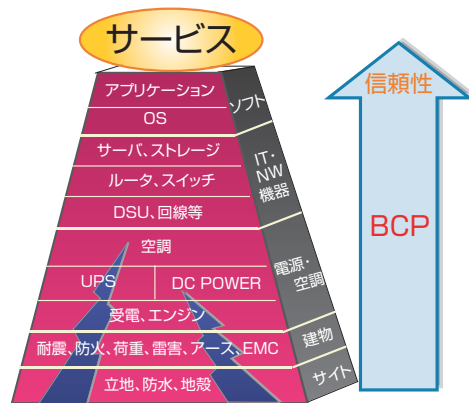


図1 サービスを支えるシステムの信頼性

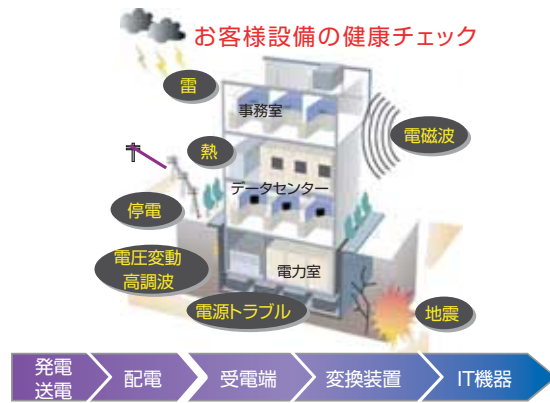


図2 エネルギードック

国内で発生しており、まさに地震大国日本と言える。さらに南海・東南海地震や首都直下型地震発生への懸念が高まる中、社会的な関心も急激に高まっている。

NTTファシリティーズでは、建物の耐震診断を行い、耐震補強や制震・免震技術を駆使して最適なソリューションを提供している。また、ITシステムなどの耐震対策では、当社開発のIT装置ラック用免震装置が有効である。従来の免震装置に比べ可動変位量が1.85倍（365mm～370mm）となり、より大きな地震動への対応が可能である。

・雷害対策ソリューション

雷害は、建物に落雷する「直撃雷」だけではない。近隣への落雷で発生した過大な電圧・電流が、電源線・通信線・接地線を通じて侵入する「誘導雷（間接雷）」がある。誘導雷によりサーバのデータが消失する、工場の生産システムの瞬間的な停止や誤動作で製品の不良品が発生する等の被害が現実に発生している。

NTTファシリティーズの雷害対策ソリューションは、個々の設備や装置の保守範囲にとらわれず、お客様に適した建物、電源、IT・通信システムへの雷害対策を、コンサルティング・設計・工事・防雷機器の提供まで総合的に提供している。

・水害対策ソリューション

この夏、各地を襲った「平成18年7月豪雨」（気象庁命名）のような、地球温暖化に起因する局所的な集中豪雨が多発している。

NTTファシリティーズには、水

防対策費用と損害額をシミュレーションし、水防対策の費用対効果を算出できる浸水リスク診断システムがある。この診断結果を基に、建物自体のかさ上げや重要施設の上層階への移転、水防板等の水防設備類の設置などの最適な防御方法を提供している。

水防対策では、設置した水防設備類が被災時に確実に機能するように、平常時での水防設備類の点検・維持管理や、訓練、駆け付け体制等の整備も重要となる。

・火災対策ソリューション

iDCなどITシステム収容建物での火災は、経済的な損失と同時に重要な顧客データの消失など、社会的な損失は計り知れない。

NTTファシリティーズでは従来の1/50程度の煙濃度も検知できる火災早期検知システムや、水が使えないITシステムへの消火には、人体や地球環境にも配慮されたガス系新消化システムを、さらにはケーブルを通じた延焼防止には、ケーブル貫通部へ独自に開発した防火措置工法の導入を進めている。

いつ起こるかわからない今こそ防災対策を

防災対策ではパッチワーク的な対策ではなく、お客様の立場に立った総合的なソリューションが必要である。NTTファシリティーズでは、

リスク要因	予想される被害	ソリューションメニュー
停電	停電により電力供給がストップすると… ▶ITシステムの停止	▶エネルギーシステム総合診断サービス(エネルギードック) ▶停電対策コンサルティング ▶トータルパワーソリューション ▶バッテリー容量診断 ▶オペレーション&メンテナンス
地震	地震により、ビル・IT機器が振動・倒壊すると… ▶ITシステム・設備の破壊・故障 ▶衝撃によるデータの損失	▶地震リスク診断 ▶耐震診断 ▶IT機器耐震性能評価
雷害	誘導雷などによりサージ等が侵入すると… ▶ITシステムの破壊・故障・誤動作 ▶他ネットワークへの波及	▶雷害リスク診断 ▶雷害対策コンサルティング ▶外部雷保護診断サービス
水害	台風等による大雨、地震等により津波が発生すると… ▶浸水によるITシステム・設備の破壊・故障 ▶浸水によるデータの損失	▶浸水リスク診断 ▶FM建物診断
火災	建物内外における火災対策を怠ると… ▶焼損によるITシステム・設備の破壊・故障 ▶焼損によるデータの損失	▶火災リスク診断 ▶FM建物診断 ▶広域遠隔監視

表1 ソリューションメニュー

日本の通信インフラを100年以上支えてきた経験と実績を防災ソリューションに反映させ、信頼性の高いシステム構築を実現している。

日本政策投資銀行が防災対策を積極的にすすめる企業に対し、防災対策費用を金利優遇する制度を開始した。市場がその融資先企業を評価し、株価が上昇したことをみても、より一層企業の防災対策は求められていることがわかる。

災害はいつ起こるかわからないが必ず起こる。だからこそ今、防災を考える必要がある。

お問い合わせ先  
**(株)NTTファシリティーズ**  
 総務部 広報室  
 TEL:03-5444-5112